

2024年3月期第2四半期
決算説明会



**SERENDIP
HOLDINGS**

セレンディップ・ホールディングス株式会社
証券コード 7318

2023年11月15日



Index

1. 会社及び事業概要
2. 業績ハイライト
3. 業績見通し



Index

1. 会社及び事業概要
2. 業績ハイライト
3. 業績見通し

100年企業の創造

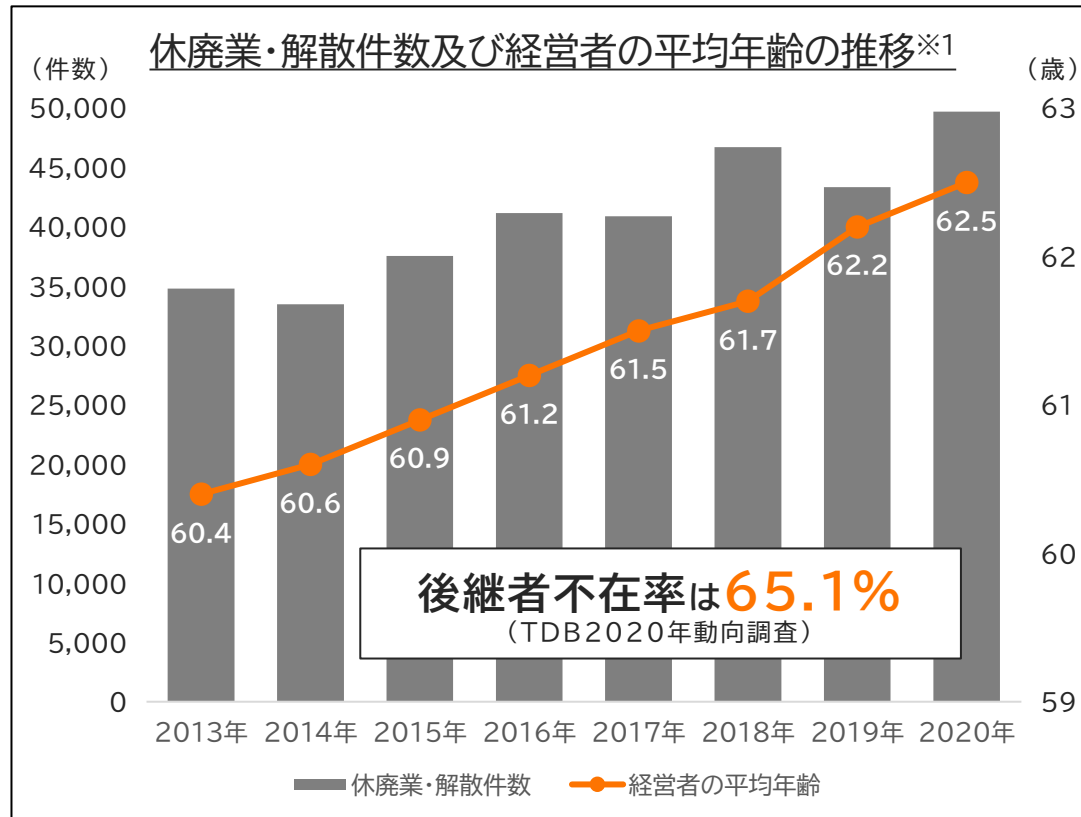
日本の中堅・中小製造業に**経営革新**をもたらし、
モノづくりの**未来を創る**

私たちセレンディップグループは、
中堅・中小製造業に特化した事業投資会社として、「経営の近代化」と
「地方創生」を積極的に推進し、よき伝統の尊重と戦略合理的経営を追及します

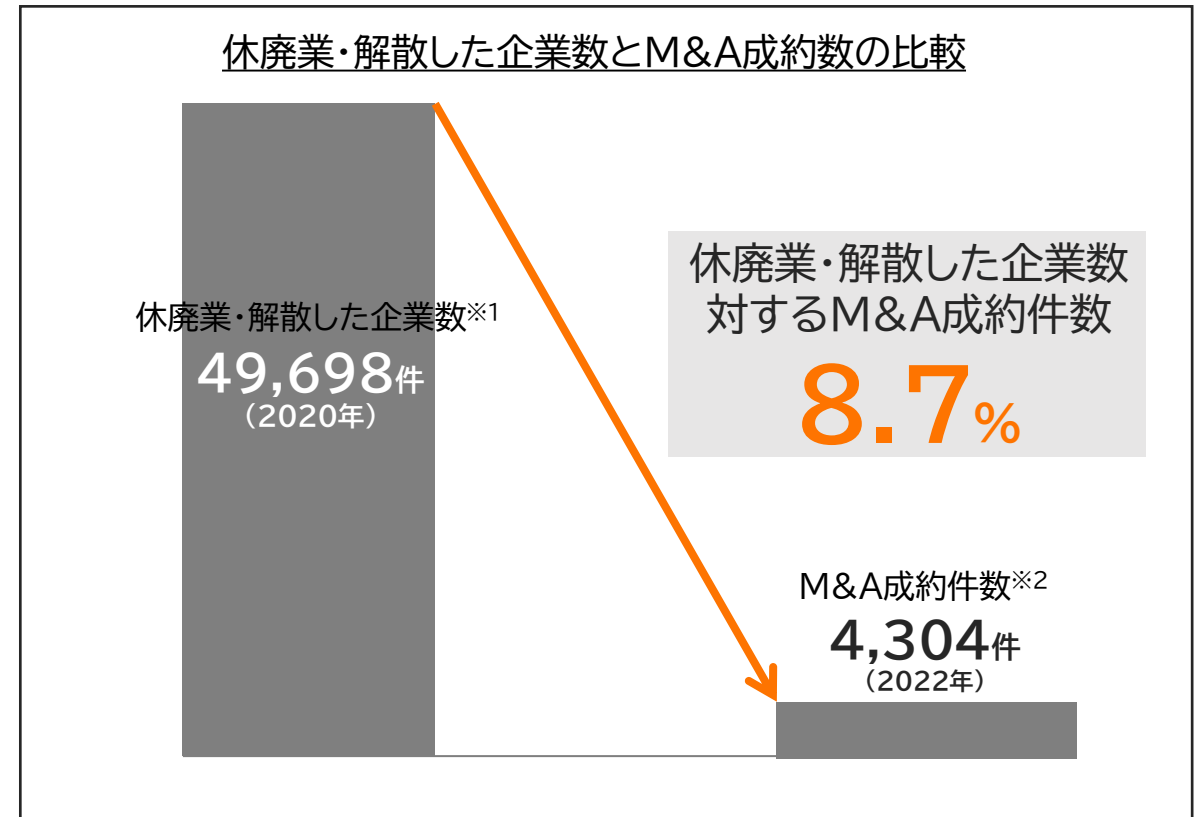


国内企業の休廃業・解散の増加及びM&Aへの圧倒的需要

- 経営者の高齢化、後継者不在により「休廃業・解散」を選択する件数が増加傾向
- 第三者への事業承継ニーズに対して、国内M&A実績が追い付いていない



※1 (株)東京商工リサーチ「休廃業・解散企業」動向調査、「全国社長の年齢調査」(2021年)



※2 (株)レコフデータ(2022年)

事業セグメント情報

① モノづくり事業 | 売上高 142.3億円 従業員数 465名

- 天竜精機(ファクトリーオートメーション装置製造)
- 佐藤工業(オートマ機能部品製造)
- 三井屋工業(自動車内外装部品製造)
- アパックス(開発段階における試作品製作)

② プロフェッショナル・ソリューション事業 | 売上高 12.7億円 従業員数 136名

- セレンディップ・ホールディングス(プロ経営者派遣、コンサルティング)
- セレンディップ・テクノロジーズ(設計・開発・ITエンジニア派遣、ソフトウェア開発)

③ インvestment事業 | 売上高 1.1億円 従業員数 7名

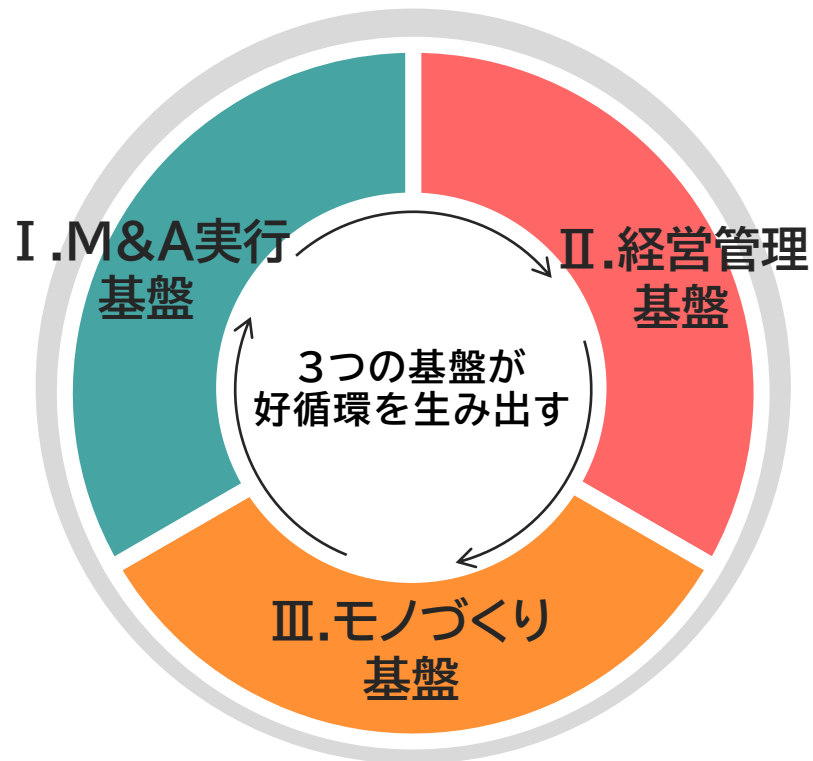
- セレンディップ・フィナンシャルサービス(プリンシパル投資(自己資金投資)、フィナンシャル・アドバイザー、ファンド運営)

(注)売上高:2023年3月期,従業員数:2023年9月末時点

当社のビジネスモデル

- 事業承継のトータルソリューションを提供する当社独自の「モノづくり事業承継プラットフォーム」を構築

モノづくり事業承継プラットフォーム



モノづくり事業承継プラットフォームの3つの基盤

I. M&A実行基盤

M&Aプロセス全体(M&Aチャネル開拓、M&A戦略立案/実行)の遂行

II. 経営管理基盤

プロ経営者によるチーム経営、標準化されたマネジメントツール、業務シェアードによるグループ一体となった経営の推進

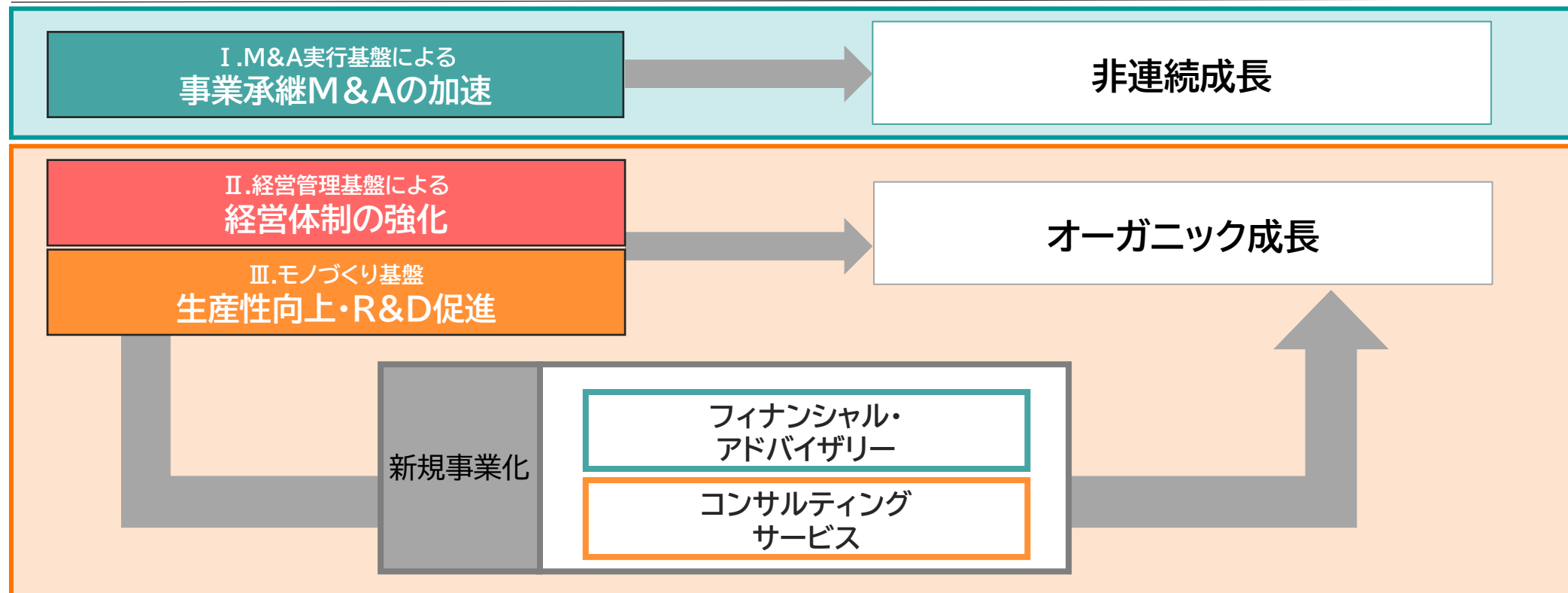
III. モノづくり基盤

標準化された改善ノウハウによる製造現場の変革とR&D

非連続成長とオーガニック成長を実現

- 加速する事業承継M&Aが、非連続的成長を実現
- 経営体制の強化及び生産性向上・R&D促進が、オーガニック成長を実現
- 蓄積したノウハウを新規事業化し、成長をさらに加速

モノづくり事業承継プラットフォームにより、生み出される価値





Index

1. 会社及び事業概要
2. 業績ハイライト
3. 業績見通し

2024年3月期第2四半期連結業績サマリ

- 売上高・営業利益・経常利益・当期純利益すべての項目で、第2四半期における**過去最高を更新**
- 部品供給不足が解消し、**自動車メーカーの国内生産は高水準で推移**
- インバストメント事業で**FA案件数が増加した**ことにより営業利益が増加
- 経常利益と当期純利益は、上記に加え、**エネルギー等のコスト増に対応する販売価格の修正等**により増加

売上高

9,493百万円

前年同期比 **+41.1%**
前年同期 6,727百万円

営業利益

397百万円

前年同期比 **+933.9%**
前年同期 38百万円

経常利益

469百万円

前年同期比 **+17,713.3%**
前年同期 2百万円

親会社株主に帰属する 当期純利益

378百万円

前年同期比 **+983.2%**
前年同期 34百万円

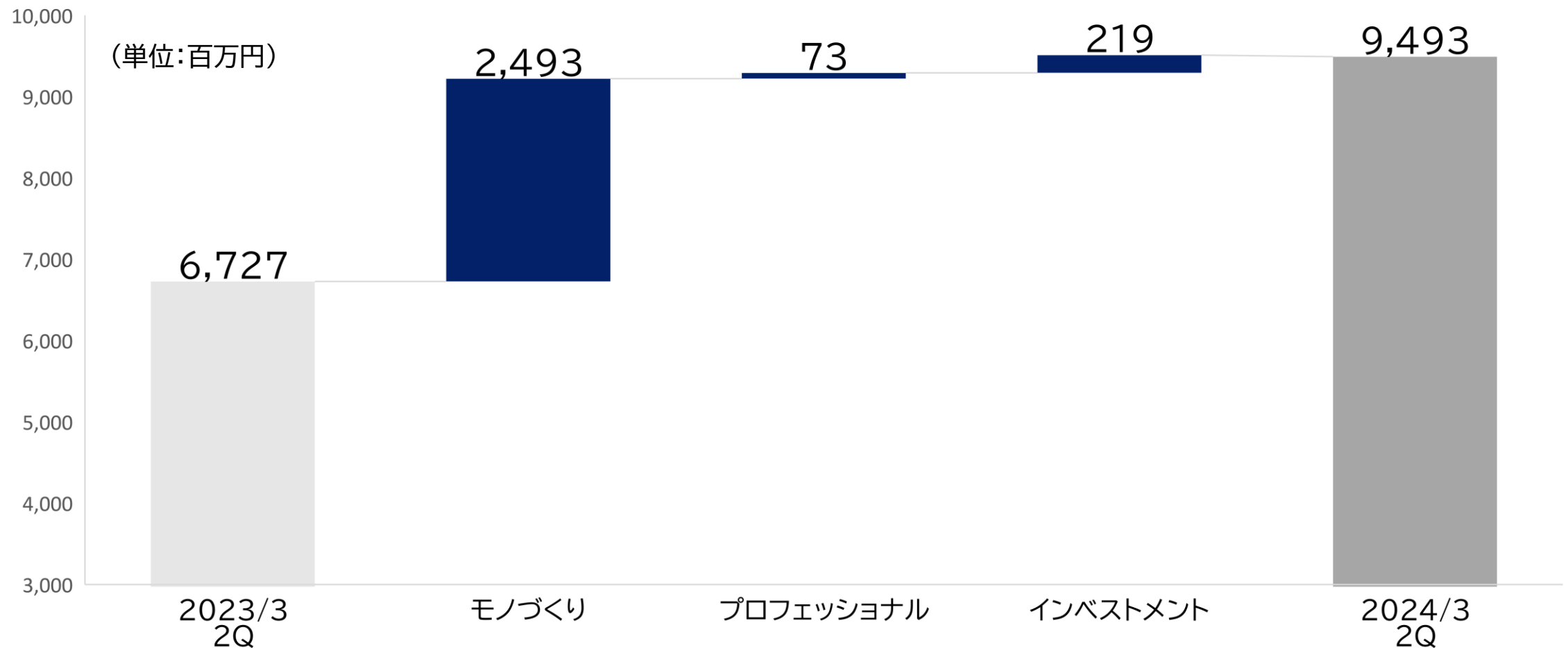
2024年3月期第2四半期連結業績サマリ(セグメント別)

	売上高	セグメント利益
モノづくり事業	8,801百万円	338百万円
	前年同期比 +39.5% 前年同期 6,308百万円	前年同期比 +245.0% 前年同期 98百万円
オートモーティブサプライヤー	7,351百万円	
その他	1,450百万円	
プロフェッショナル・ソリューション事業	674百万円	△76百万円
	前年同期比 +12.2% 前年同期 601百万円	前年同期比 -% 前年同期 △26百万円
インベストメント事業	240百万円	136百万円
	前年同期比 +1,075.2% 前年同期 20百万円	前年同期比 -% 前年同期 △33百万円

(注)セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

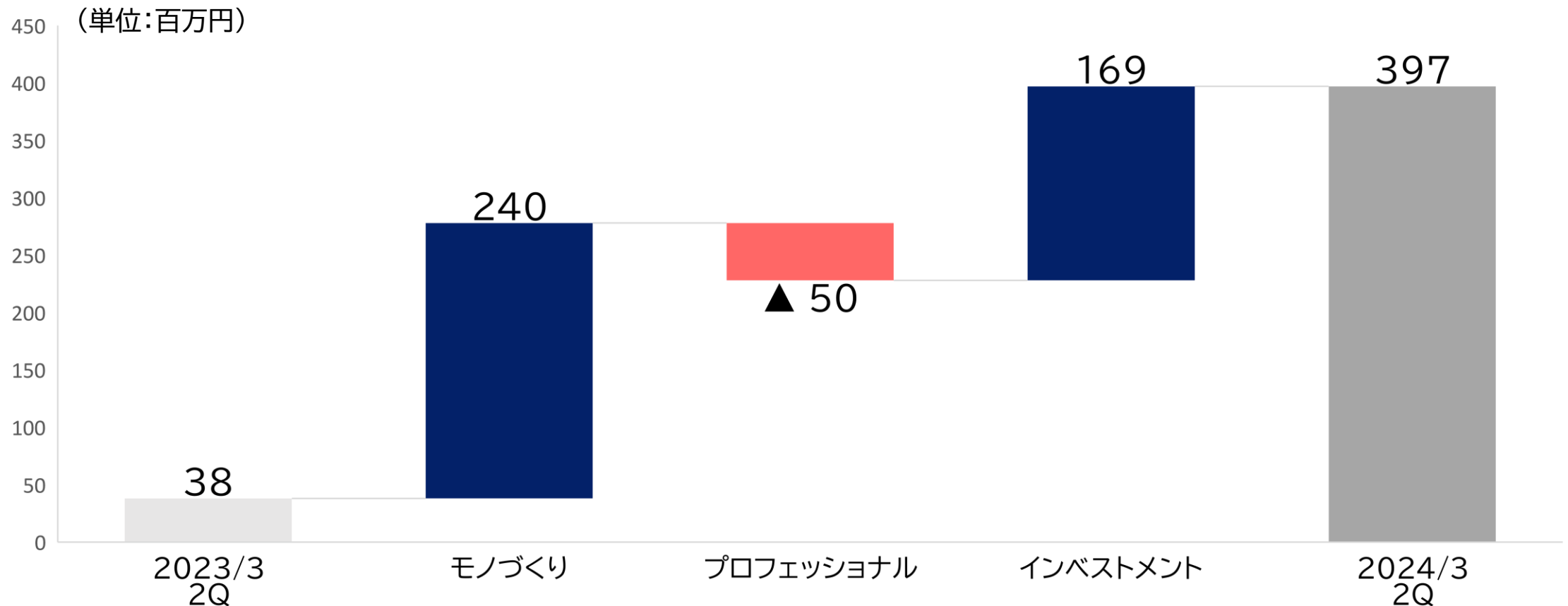
2024年3月期第2四半期連結売上高増減分析

- モノづくり事業:国内自動車メーカーの生産回復により大幅増収
- プロフェッショナル・ソリューション事業:ITコンサルティングサービスへの旺盛な需要により増収
- インベストメント事業:FA案件数の増加、モノづくりファンドの管理報酬受取により増収



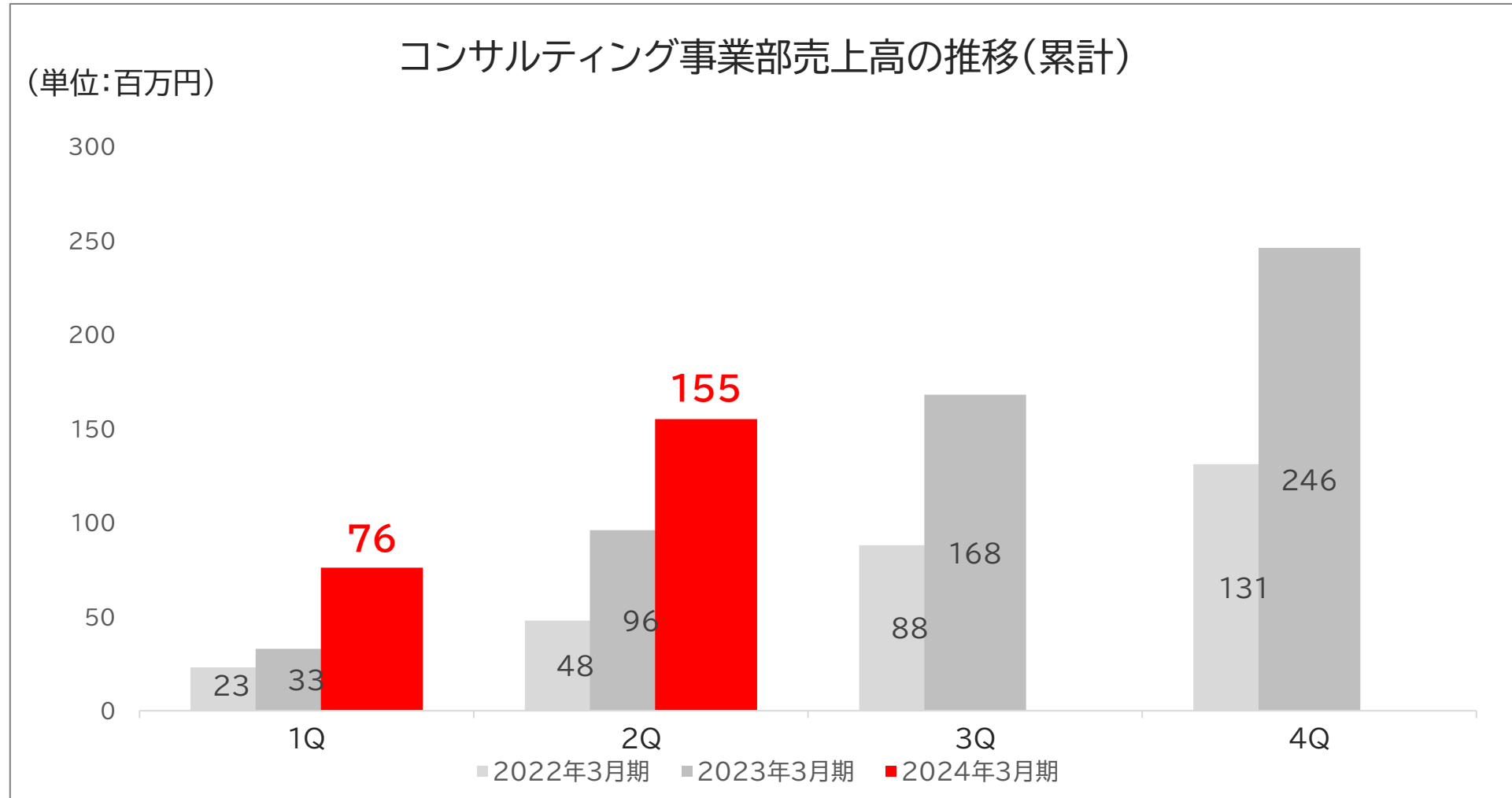
2024年3月期第2四半期連結セグメント別営業利益増減分析

- モノづくり事業:増収に伴い大幅増益
- プロフェッショナル・ソリューション事業:プロフェッショナル人材の採用や、新規事業(協働ロボット支援サービスやHiConnex(ハイコネックス)等)立ち上げの先行投資により減益
- インベストメント事業:増収に伴い大幅増益



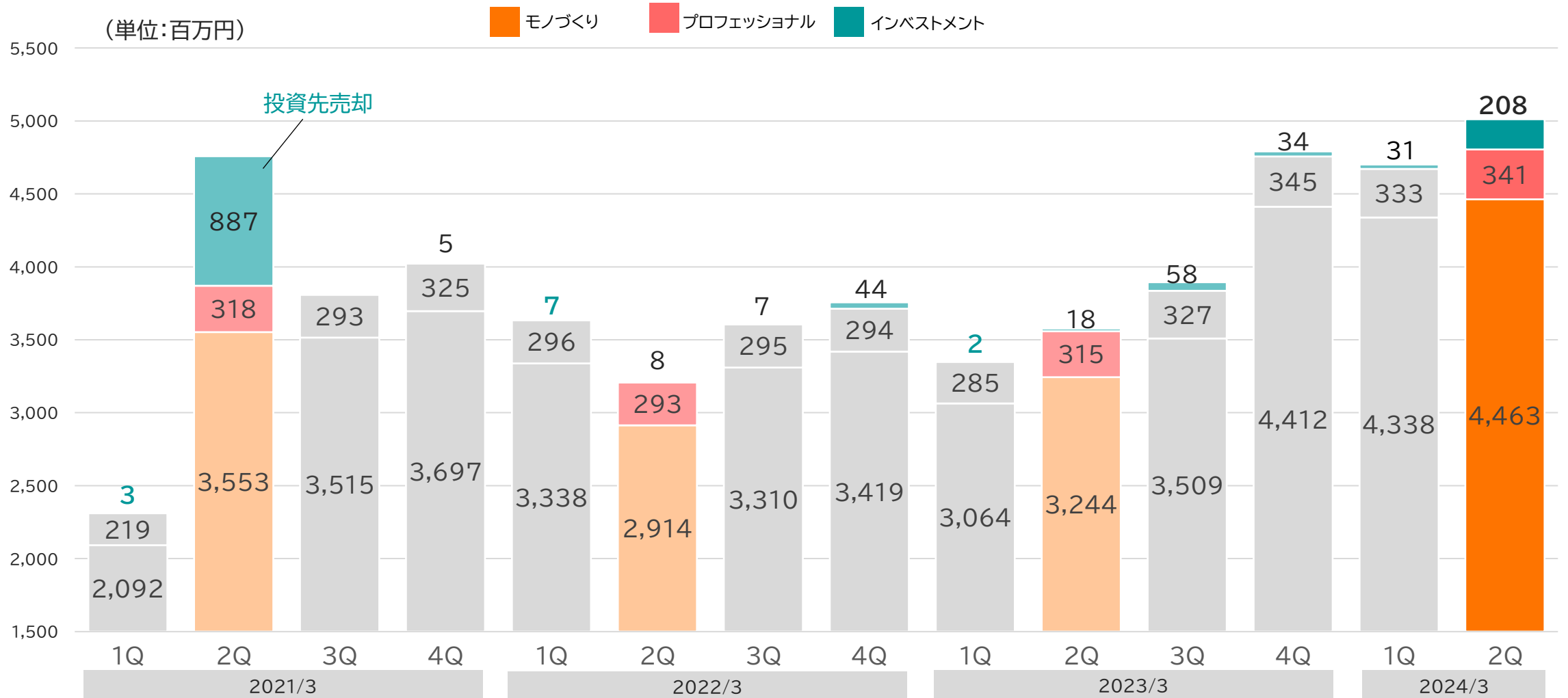
コンサルティング事業部の売上高の推移

- 2022年3月期の立ち上げ以降、中堅・中小企業の基幹システムの再構築需要の増加による、ITコンサルティングへのニーズ増加により増収（前期比160.5%）



連結売上高四半期推移(会計期間)

- 2024年3月期第2四半期は、投資先の売却を行った21年3月期第2四半期を超え、**四半期売上高としては過去最高値で着地**



(注)セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

連結貸借対照表サマリ

- 堅調な業績及び投資有価証券の時価評価差額により自己資本が拡充
- 自己資本比率が3.6pt改善し31.3%

(単位:百万円)	2023年3月期末	2024年3月期 2Q末	増減額
総資産	16,168	17,082	+913
流動資産	7,741	7,915	+173
固定資産	8,427	9,166	+739
負債	11,689	11,737	+47
流動負債	5,806	6,072	+265
固定負債	5,882	5,664	△217
純資産	4,479	5,345	+865
自己資本比率	27.7%	31.3%	+3.6pt



Index

1. 会社及び事業概要
2. 業績ハイライト
3. 業績見通し

通期業績予想

- モノづくり事業において、上期の自動車メーカーの国内生産が**期首予想以上の高水準で推移したことにより
上方修正**
- 新規事業立ち上げによる先行投資、FA製造装置の受注遅れを保守的に織り込み

(単位:百万円)	2023年度 今回予想	2023年度 期初予想	増減 (増減率)	【参考】 2022年度 実績
売上高	19,100	16,800	2,300 (+13.7%)	15,195
営業利益	600	447	153 (+34.2%)	325
経常利益	640	370	270 (+73.0%)	347
親会社株主に帰属 する当期純利益	520	230	290 (+126.1%)	312

セグメント別業績見通し

モノづくり事業

1. オートモーティブサプライヤーは、自動車の国内生産台数増加により好調
2. FA装置製造は、半導体メーカーを中心に、顧客の設備投資の変更や延期の影響で受注遅れ
3. 2023年1月に連結子会社化したアペックスが今期から通期で貢献

プロフェッショナル・ソリューション事業

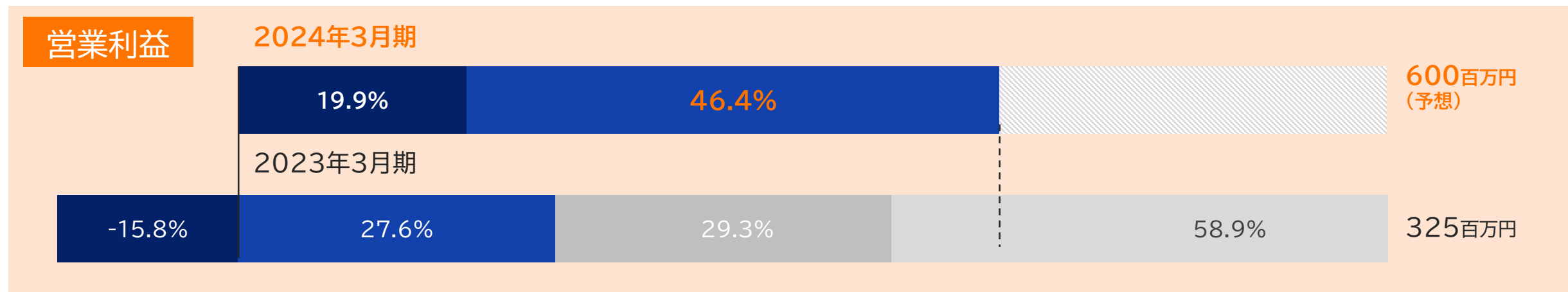
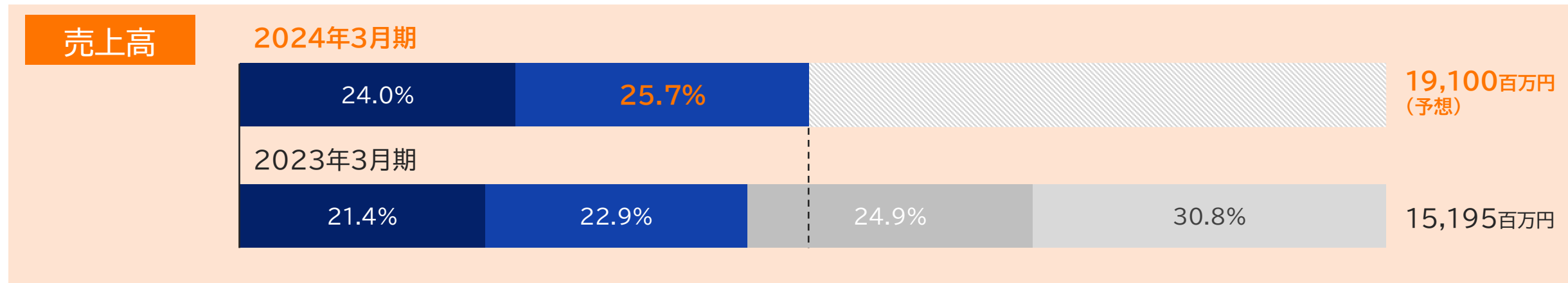
1. ITコンサルティングサービスの引き合いが継続して好調なため、コンサルタントを増員し対応
2. 協働ロボット支援サービスやHiConnex(ハイコネックス)等の新規事業と既存事業の組み合わせ(クロスセル戦略)の収益化

インベストメント事業

1. FA成約数の増加及びものづくりファンドの管理報酬の受取により、売上高が引き続き増加
2. 2023年2月に組成した「ものづくりファンド」による投資1号案件の実行、経営支援を開始

2024年3月期第2四半期連結業績予想に対する進捗率

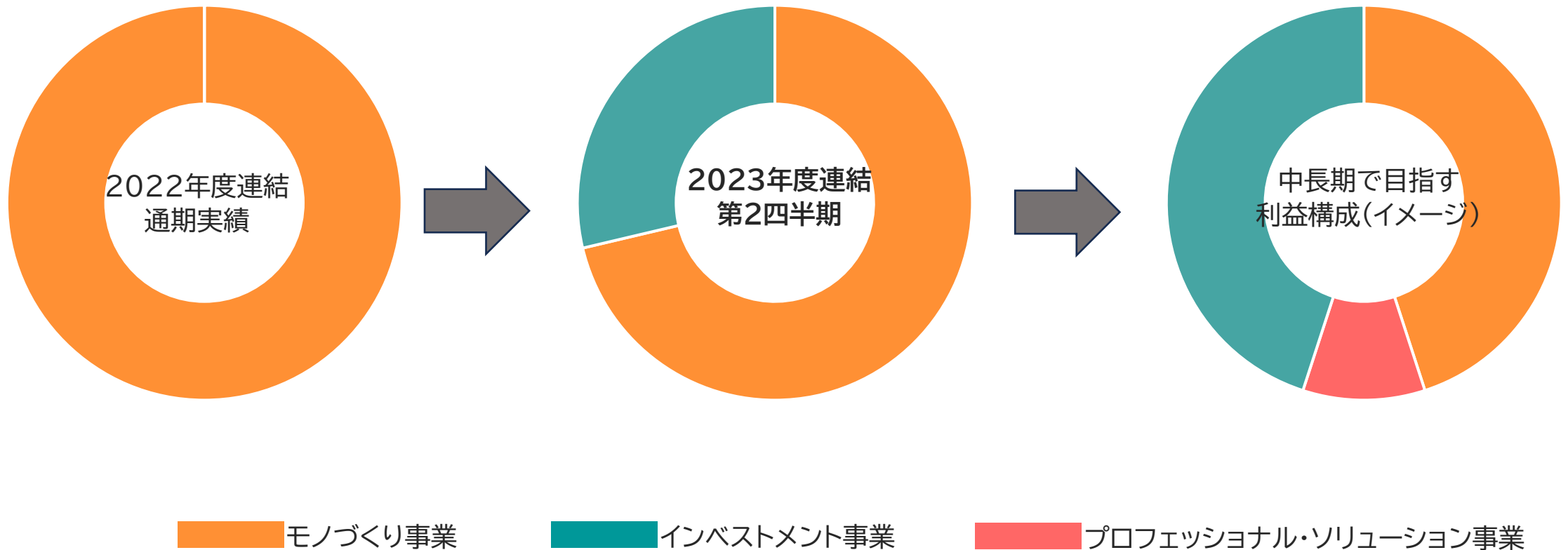
- 予想修正後の営業利益が高進捗なのは、インベストメント事業で第3四半期以降に想定していた案件が、第2四半期において前倒し計上されたため



■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q

事業セグメント別 営業利益構成比

- 前期は、営業利益のほぼ100%を**モノづくり事業**により獲得
- 2024年3月期第2四半期は、営業利益のおよそ3分の1を**インバストメント事業**により獲得
- 中長期的には、**プロフェッショナル・ソリューション事業**が、利益面でモノづくり事業とインバストメント事業を補完する利益構造を目指す



トピックス1 | 日本ものづくり事業承継基金1号ファンド ファイナルクローズ

- セレンディップHD子会社であるセレンディップ・フィナンシャルサービス(株)と、SBI新生銀行子会社である新生企業投資が、合併会社(日本ものづくり事業承継投資)を設立し、共同でファンド運営
- ファイナルクローズ後は投資の実行と投資先企業へのハンズオン型PMIに注力

基本情報	
ファンド名	日本ものづくり事業承継基金 1 号投資事業有限責任組合
設立	2023 年 2 月 3 日 (ファイナルクローズ:2023年9月29日)
ファンド規模	56.7億円 (ファーストクローズ : 51.15 億円)
無限責任組合員(GP)	日本ものづくり事業承継投資株式会社
有限責任組合員(LP)	独立行政法人中小企業基盤整備機構、株式会社SBI新生銀行、株式会社名古屋銀行、株式会社足利銀行、株式会社愛知銀行、株式会社中京銀行、株式会社大垣共立銀行、株式会社三十三銀行

トピックス2 | ものづくりファンド第1号投資案件

- 2023年2月のファンド設立依頼、初の投資案件を2023年7月に実行
- 経営面の支援として、セレンディップグループより製造業PMIに精通した取締役を派遣

投資先情報		投資モデル
会社名	しらがねめっき 白金鍍金工業株式会社	
設立	1949年	
資本金	4,000万円	
代表者	代表取締役社長 笹野 真矢	
従業員数	200名	
事業内容	樹脂めっき/金属めっき/塗装/成形/組付	
売上高	4,344百万円(2022年5月期)	
拠点	愛知県名古屋市守山区	

投資後マネジメント (バリューアップ)	ものづくりファンド (日本ものづくり事業承継基金 1号投資事業有限責任組合、2023年2月組成)
	<ol style="list-style-type: none">1. セレンディップグループより製造業のPMIに精通している取締役を派遣2. 当グループとSBIグループのネットワークと経営支援のノウハウを活用。既存の取引先との信頼関係を継続。さらに、自動車関連分野以外の取引先との取引拡大を目指す

アンケートにご協力お願いいたします

- 皆様のご意見やご感想によって、IR活動を改善してまいります
- 二次元コードを読み取っていただき、アンケートのご回答をお願いいたします

【セレンディップHD】IRに関するアンケート



<https://forms.office.com/r/dafQYkvgPj>

Contact Us



<https://www.serendip-c.com/>



愛知県名古屋市中区錦 1-5-11
名古屋伊藤忠ビル



ir@serendip-c.com

本資料に関する免責事項

本資料には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述又は前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、又は将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。